

令和3年度の振り返り

令和3年度は、コロナ禍、当園でも感染者が発生し、隔離対応等の非常に厳しい対応を強いられた。社会的養護に関心のある医師と連携し、早い検査体制を確立し感染対策を講じてきた。コロナ生活が始まる前と比較すると、まだまだ元通りとはいえないが、できる範囲で外出泊行事や園内での行事などを実施することができた。また、新たに子どもたちの誕生日を特別な大切な日として、浄土真宗本願寺派大阪教区やお菓子のアトリエ「ハンブルグ」と連携をはかり、すべての入所児の誕生日会にホールの誕生日ケーキが贈られるプロジェクトを実施した。子どもたちのみならず、ご寄贈いただいた方々にとても非常に好評であった。

令和2年度に引き続き、『ぬくもりある安らぎの居場所を創造する』をコンセプトに、本体施設建て替え計画を進めてきた。令和3年度4月より地域小規模児童養護施設（定員6名 × 2ユニット

「凪」「雅」）を開設しており、同時にトータル定員数を60名に変更している。地域小規模児童養護施設では、これまでの集団生活とは違った個々の生活空間が保たれ、時間がゆったりと流れる「自分たちの家」といった雰囲気が醸成されている。コロナ禍、ウッドショックによる木材の高騰等を受け、計画変更をせざるを得ない状況があったが、第2期工事を進め、令和4年度4月より、地域小規模児童養護施設「雅」6名、分園型小規模グループケア「陽」6名の新たな1棟が開設する。これまで1棟で男子「凪」、女子「雅」の2ユニットであったが、新しい1棟が建ち、女子「雅」が引っ越し、令和4年度より、既築1棟で男子2ユニット「虹」、「凪」と新築1棟で女子2ユニット「陽」、「雅」とする。令和4年度も、コロナ禍、またロシア・ウクライナ情勢、円安など、計画進捗に懸念されることは山積しているが、吹田市や大阪府、国と協議を進め、第3期工事を進めていく方向性としている。年度半ばより、さらに幼児棟を解体し、児童棟「和」、「奏」（定員6名 × 2ユニット）、分園型小規模グループケア「芽」、「紬」（定員6名 × 2ユニット）を建設（令和5年度4月より開設予定）、開設と同時にトータル定員数を48名とする。その後、現在の本体施設を解体し、新しく本館を建築する計画を進めていく（令和5年度末竣工予定）。なお、建築に関する費用は、児童養護施設大阪西本願寺常照園拠点区分措置施設繰越特定資産（備品等購入積立資産・修繕費積立資産）から取崩し、また福祉医療機構より借入を行うことも、計画変更に伴い協議しながら進めている。

短期入所センターとは、コロナ禍、陽性者が出て隔離等の厳しい対応を協力して乗り越えてきた。今後も地域ニーズの把握に努め、ニーズに応えていけるよう連携を強化していく。

加えて、令和5年度末竣工後の本館機能として、地域交流スペースも設え、地域の子育て拠点となり、ショートステイやトワイライトステイの安定的な受け入れや一時保護機能の確保など、虐待等の予防的機能を兼ね備えた運営を目指しており、自立支援、退所者の居場所づくり、里親支援の拠点などにも頼られる存在感を発揮していく計画を立てている。令和4年度に、その足掛かりとして、里親支援専門相談員、自立支援担当職員、家庭支援専門相談員を中心に、心理担当職員や看護師なども含めた専門職チームを創設し、常照園が目指す高機能化および多機能化の具体性を見出す準備を進めてきた。

また、職員の福利厚生について、コロナ禍により、懇親会の実施等は縮小し、慰労金の支出やコロナ感染者が発出した際の危険手当等の支出などを実施し、非常に苦しい対応を乗り越えてきた。

基本理念、運営方針、重点目標を基軸に、子どもたちの自己実現をはかり、「生まれてきてよかった」と思えるように、日々、職員チームで研鑽を積み、工夫を重ね、安心、安全、安定した日常生活を維持できるように努めている。

令和3年度 児童養護施設 事業報告

1. 児童について

定員 60名

(1) 年間取り扱い延べ人数 19,095名

(1日平均 52名)

(2) 令和3年4月1日現在の在籍数 52名

(3) 令和4年3月31日現在の在籍数 47名

区分	男	女	合計
1・2歳児	0	0	0
年少児	1	1	2
小学生	10	11	21
中学生	5	6	11
高校生	7	6	13
その他	0	0	0
合 計	23	24	47

(4) 年間入所児童数 (※4月1日入所1名も含む) 4名

(5) 年間退所児童数 8名

(6) 一時保護委託児童数 10名

2. 職員について

(1) 職員構成

区分	常勤職員	非常勤職員	合計
施設長	1	0	1
事務	1	0	1
主任指導員 (自立支援担当職員)	1	0	1
基幹的職員	1	0	1
里親支援専門相談員	1	0	1
個別対応職員	1	0	1
家庭支援専門相談員	2	0	2
指導員	13	5	18
保育士	13	0	13
心理担当職員	1	1	2
栄養士	1	0	1
看護師	1	0	1
調理員	5	0	5
嘱託医	0	1	1
合計	42	7	49

(2) 職員研修

【施設外研修】

実施月	研修名・内容	参加人数
4月	サービスマナーセミナー研修 新任職員になるためのサービスマナーセミナー	2名
5月	NPO法人 チャイボラ研修 「激動期を切り拓く社会的養護施設の経営戦略」	1名
6月	浄土真宗本願寺派 全国児童養護施設協議会職員研修会 「児童養護施設における自立支援の標準化」	1名
7月	NPO法人 フリッジフォースマイル 「親ありき日本をこえる コエール2021」	1名
	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社・全社協 「ケアリーバー全国調査セミナー有識者と調査結果を語る会」	1名

9月	一般社団法人 福祉経営研究機構 オンラインセミナー 「経営力強化セミナー」	1名
	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 「子ども食堂 学習会&講演会」	1名
	大阪府社会福祉協議会 児童福祉課程基礎コースⅡ 職員の専門性 リーダーシップ キャリアについて	1名
10月	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会 「全国児童養護施設長研究協議会」	1名
11月	大阪府 家庭支援課 「里親研修」	3名
12月	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 「社会的養護を担う児童福祉施設長研修会」	1名
1月	大阪府福祉部障がい福祉室 権利擁護グループ 障がい者虐待防止・権利擁護研修	1名
3月	北摂児童施設連盟 合同研修 「社会的養護の子どもの喪失について考える」	1名

【施設内研修、ケース会議等】

実施月	研修内容	講師等
4月	運営方針について 今年度の研修体制	主任 園長
5月	児童養護施設における自立支援	主任
6月	生活とセラピーのあいだ	心理職
7月	職員間の連携について	副主任
9月	中止	
10月	処遇困難事例検討会 小学生女子の事例検討	担当保育士
11月	児童養護施設における小規模化について	サブリーダー
12月	こころケア研修会 トラウマという視点で子どもの行動を理解する	こころケアスタッフ
1月	中止	
2月	中止	
3月	中止	

3. 苦情解決について

令和3年度 苦情受付件数 2件
近隣住民から道路で遊ぶ児童に対する苦情 2件

4. 施設整備等について

- ※ コロナ対策 リフォーム
- ※ 短期入所センターへの外階段設置工事
- ※ 屋上給湯器修理工事 ラインポンプ取替工事
- ※ 業務用冷蔵庫修理

5. NHK歳末たすけあい義援金配分について

義援金配分金 105,000 円
小中学校 9名 × 5,000円 = 45,000円
高等学校 5名 × 12,000円 = 60,000円

6. 年間行事について

実施月	行 事 名		
4月	中止		
5月	中止		
6月	中止		
7月	中止		
8月	デイキャンプ（兵庫、滋賀、和歌山、大阪方面）		
9月	特になし		
10月	スノーピークキャンプ 六甲山アスレチック		
11月	フットサル大会 TWC 日帰りアウティング (USJ)		
12月	SELFチャリティイベント	プロバスケット招待	日帰りアウティング (USJ、天王寺動物園)
1月	京都水族館招待	正月アウティング（映画など）	日帰りアウティング（六甲山）
2月	USJ招待	一泊アウティング（スノーボードなど）	
3月	日帰りアウティング（枚方パークなど）		